

第4期森の子コレンジャー活動終了！



“自然が好き”という共通の想いをもった市内の子ども20人で結成した第4期コレンジャーと森林レンジャーの集合写真。年8回の活動でしたが、3月にはいい笑顔で終了することができました！

第4期の活動は、自然を知る里・森歩き、どんぐり豊凶調査を通しての野生動物と人の関わりを学び、協力して自然のためにビオトープ作りをするなど、知るだけの活動に留まらず行動することができました。

この1年で、それぞれの自然への愛情が少しでも膨らんでいたらいいな・・・それよりも何よりも、コレンジャーでしか出会えなかった仲間とこれからも仲良く！

1年間みんなありがとう。また会おうね！



最後の活動はビオトープまでの道を整備しました。みんなのおかげで多くの人や、市内小学校体験学習で、君たちの後輩を安全に案内することができますよ！ありがとう(^o^)

自然を昔に戻す会 炭焼き作業&苗木



「今回の炭は、うまくいったな。」ほっと胸をなで下ろしながら炭焼き部の皆さんが笑顔で焼きあがった炭を選別し、商品となる炭を製造部に託します。焼きあがった炭は煮沸後製品に仕上げ、瀬音の湯などの店頭並びます。

火と煙と相談しながら朝早くから夜遅くまで炭を焼く。それでも、最後に窯を開けてみないとわからない。本当に大変な仕事です。作業の時は、野菜の作り方や昔の話など勉強になることを教えあい、みんなで笑いながら作業を楽しんでやっています。炭を焼くまでには、竹を山から伐ってきて裁断し、ナタで割って節をとり束にするという作業もあり、会員の団結力と熱意と笑い腕がなければ炭は店頭には出ないんですね。

第2期コレンジャーの同窓会で植樹する苗木は、育苗部が実生から育てたものを頂きました。懐かしい顔ぶれの2期コレンジャーと、クマのためのクリを大切に奥山へ植えてきます。榎本さんありがとうございました！

(加瀬澤)



春空の下



(写真)産卵場所にやってきたトウキョウサンショウウオのメス。沢山の卵を持っているので、お腹がぱんぱんです！

春よ「こい」！

今年は冬の寒さが早めに収まったからか、にわか雨の日々が多かったためか、両生類の産卵や昆虫などの「目覚め」が、例年より早い2月中から見られました。

この様に、これまでトウキョウサンショウウオの調査を行ってきた中で、今年は今までで最も早い時期に産卵が見られました。1月下旬には卵のうを発見し、産卵の時期は例年の3月ではなく、2月中にピークを迎えていました。

これから春はどの様に変動していくのか興味深いところですが、天候の激しい変化で様々な動物の繁殖が失敗しないかが心配です。

流れていないよ、ナガレタゴガエル・・・

昨年5月のレンジャー新聞でも触れた川の「流れ」についてですが、あきる野の奥山から流れる秋川の支流の流れは、徐々に浅くなっている様子が見られます。特に、土砂に埋まって機能しなくなった砂防等と関係していると思われますが、約3年前から盆掘川流域を中心にナガレタゴガエルを見かけなくなっていることはこの影響でしょうか。個体群の異変や密漁などが原因の可能性もあり、あきる野の奥山でこの両生類が見られなくなってしまうと危惧しています。様々な形で影響を受けている両生類のために、レンジャーやコレンジャー以外にも保護を行っている方も少なくありませんが、まずは両生類に関心がない方にも理解を頂き、そして皆で見守ることの必要性を伝えることが急がれています。

(写真)今年は、ナガレタゴガエルがよく集まる場所は数カ所に限られ、それ以外ではほとんど見られませんでした。確認しにくい淵なども多くありますが、減少していることは確実です。



ゴミの不法投棄の話

昨年から林道などの山道で不法投棄がますます目立つようになってきました。BBQ用品や家電・家具から、建築物の解体後の粗大ゴミまで、様々な不法投棄が見られます。これらは直接的に自然だけではなく、人間にも影響を与える危険性がある物が多く、深刻な問題です。森の環境や私たち人間のためにも不法投棄はやめてほしいものです。

(写真)不法投棄の様子。不法投棄を行う人を見かけたら警察に通報しましょう。



パブロ



森っ子サンちゃん